

## ハノーバー市(ドイツ)の弦楽器教育に関するリソースについて

### 1 ハノーバーが有する主要な弦楽器教育リソース

#### (1) ハノーバー音楽演劇大学



1950年にハノーバー演劇学校と州立音楽学校が統合して創立、1978年に博士号を提供する音楽大学として認可。現在、世界55カ国からの留学生500名以上を含め、1,400名以上の学生が同校で学ぶ。音楽教育の伝統を重んじながらも、新しい文化にグローバルなスケールで触れることができる校風で、文化芸術団体やプロジェクト、海外の大学など、数多くの機関と提携。

ヴァイオリン演奏家であり指導者でもある Prof. Krzysztof Wegrzyn はハノーバー国際ヴァイオリンコンクールの芸術監督を務める。現在、南紫音、鈴木愛理らが同大学で学ぶ。なお、同大学の教授としてはこれまでに、ピアノの Prof. Alie Vardi、故 Prof. Karl Kämmerling が浜松国際ピアノコンクール及び浜松国際ピアノアカデミーで、トランペットの Prof. Jeroen Berwaerts が浜松国際管楽器アカデミーで審査又は指導をしている。



#### 《連携の可能性》

- 同大学教授陣を招聘するマスターコースやワークショップの開催
- プロ演奏家またはプロ演奏家を目指す人材の短期留学
- 浜松国際ピアノコンクール優勝者とハノーバー国際ヴァイオリンコンクール優勝者との共演など

#### (2) NDR(北ドイツ放送)フィルハーモニー管弦楽団



1950年に創立された北ドイツ放送付属の管弦楽団でノーバーを本拠地とする。主なレパートリーはヨーロッパの伝統的な古典派音楽からロマン派音楽。1998年から2009年まで大植英次氏が主席指揮者を務めた。現在、ヴァイオリン奏者の八嶋博人氏をはじめ3人の日本人演奏家が在籍する。2018年5月には“ラ・フォル・ジュルネ”のために来日予定。NDR はほかに、ハンブルクを本拠

地とする NDR 放送交響楽団、合唱団、ビッグバンドを擁する。

#### 《連携の可能性》

- 同楽団演奏家を招聘するマスターコースやワークショップの開催
- 浜松の演奏家をハノーバーでの NDR フィルのワークショップへ派遣
- 浜松国際ピアノコンクール優勝者と NDR フィルとの共演

など

### (3) ムジクシューレ(Musikschule Hannover)



子どものための公立音楽学校。音楽を楽しむための学校であり、プロ養成を目的とするものではない。講師は非常勤であるが音楽大学を卒業した専門知識を持つ人材を採用。入学試験はなく5歳頃から楽器を習う。古くからドイツ全国にあるシステムだが、ハノーバーでは約15年前から日本企業の子ども音楽教室の指導法を参考として3～6名のグループレッスンを開始。個人レッスンやアンサンブルを行うこともある。公教育との連携、出張レッスンなどのほか、レッスン生への楽器貸与や安価購入の斡旋なども行っている。なお、同国の学校教育では放課後の時間が長く、子どもたちは興味と適性に応じて、音楽やスポーツなどを学ぶ。

#### 《連携の可能性》

- 同学校は地域内の子どもの教育を目的としており講師も非常勤であるため、連携の可能性は低い

## 2 今後の連携を検討するための課題

### ① 浜松が目指す人材育成のターゲットは誰か

- ・世界に羽ばたくプロ演奏家
- ・地域に根ざし、後進の育成も行う演奏家
- ・音楽都市浜松の将来を担う青少年

### ② 時期と方法

### ③ 費用負担